

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名： 笠置町

| プロジェクト名                          | 魅力ある観光のまちづくり事業  |        | 実施期間   | 平成23年度～平成25年度 | テーマ      | 観光のまちづくり   | 新規・継続の区分 | 継続 |
|----------------------------------|---|--------|--|---------------|----------|--|----------|----|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ               | <p>笠置町は、京都と奈良の間、木津川上流の山峡に歴史とロマンを素朴にただよわせる静かな史跡・景勝のまちです。当町の地形は、南に笠置山系、北に国見岳に連なる山々がせまり、さらにその間に木津川が東西に貫流しています。そのため平地は極端に少なく、地形全体が溪谷的な様相を呈し、いたる所で見受けられる奇岩怪石が観光的要素ともなっており、訪れる人は年間25万人を越える規模となっています。</p> <p>少子高齢化の進む当町にとって、自然と緑あふれる魅力をより多くの方々に知ってもらうため、季節に合わせた観光イベント等を広報、開催しアピールすることは、町に賑わいを取り戻し活性化を図ることから住民ニーズは高い。</p> |        |  |               |          |  |          |    |
| プロジェクトの目的及び概要                    | <p>美しい自然と、史跡にまぐまれた笠置町の魅力を改めて見直し、様々な事業を通じて笠置ファンを拡大させる。</p>   |        |  |               |          |  |          |    |
|                                  | 総事業費（千円）  | 16,898 | 本年度事業費（千円）   | 10,752        | 交付金額（千円） | 2,180  |          |    |
| プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等） |   |        |  |               |          |  |          |    |
| 事業分類                             | 事業名   | 事業種別   | 事業概要   |               |          | 主な実績（出来高数値等）   |          |    |
| 市町村<br>実施事業                      | 観光イベント事業（もみじ公園ライトアップ）   | 交付対象事業 | 笠置町の自然と緑あふれる魅力を多くの方に知ってもらうために11月中開催する  |               |          | 延べ1,000人程度の集客  |          |    |
|                                  | 観光イベント事業（駅前装飾委託）  | 〃      | 観光客を華やかに迎えるために、JR笠置駅前を中心に春・夏・秋の季節に合わせた造花の飾りつけを実施                                     |               |          | 駅前を中心に春は桜、夏は青葉、秋には紅葉の飾りつけを実施   |          |    |
|                                  | 伝統的行事委託   | 〃      | 8月実施の伝統行事（灯籠流し等）の委託  |               |          | 800個の紙製灯ろうを流す  |          |    |
|                                  | 各種イベント報償（フォトコンテスト）  | 〃      | 笠置町の四季折々の自然景観・史跡・文化財・観光施設・祭事等笠置町の風景を題材とした写真を募集し、町の観光宣伝などに役立てる                        |               |          | 22人63作品応募で、6人6作品が受賞<br>さくらまつり開催時に表彰を実施   |          |    |
|                                  | 笠置町観光協会補助金  | 〃      | 町の観光宣伝及び観光客の誘致を行っている観光協会に対し補助する  |               |          | 会員数 個人42名  |          |    |
|                                  | 河川敷草刈り委託  | 関連事業   | 数多くの観光客が来る笠置キャンプ場にある河川敷の施設を快適に利用してもらうため、施設周辺の草刈りを委託                                  |               |          | 笠置大橋左岸の草刈り   |          |    |
| 住民<br>協働<br>事業                   | 笠置町「探られる里」プロジェクト事業  | 交付対象事業 | 町の人と町外の人が協力し合い、まち歩きや町民と町外の人とが交流することで笠置の魅力を探り、発見した魅力を冊子にまとめ、町内外へ情報発信するツールとして町の活性化に繋げる |               |          | 町内外から約40人が参加し、全4回のまちなか歩きとワークショップを実施。8つのテーマに沿って町の魅力をまとめ、冊子素案を作成。<br>ワークショップで作成した素案をもとに冊子を編集デザインし1,500部作成・配布 |          |    |
|                                  | 観光イベント事業（夏まつり事業）  | 〃      | 笠置町の自然と緑あふれる魅力を多くの方に知ってもらうため、夏まつり実行委員会主催のイベントへ支援                                     |               |          | 子ども向け企画「魚つかみ」からメインイベントの「花火大会」の実施まで合わせて、約10,000人の集客   |          |    |
|                                  | 鍋-1グランプリ事業  | 関連事業   | きじ鍋のまち笠置町を全国にアピールするとともに、全国のご当地鍋を一堂に会し来場者の投票による鍋-1グランプリを決定する                          |               |          | きじ鍋のまち笠置町を全国にアピールするとともに、全国のご当地鍋のナンバー1を決定するイベントを開催し、約12,000人の集客   |          |    |

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名： 笠置町

|   |   |                             |  |  |                                     |  |
|---|---|-----------------------------|--|--|-------------------------------------|--|
| 成果指標<br>①   | 成果指標の目標数値   | 入込観光客数 H21：32万人→H25：35万人    |  | 成果指標の実績値<br>(平成25年12月31日)  | 262,801人<br>(平成25年1月1日～平成25年12月31日) |  |
|   | 成果指標の達成状況   | △                           | (左の理由)   | 基礎数値の捕え方を再考したことが数値に影響している。<br>9月16日の台風18号の影響でキャンプ場が閉鎖(10月11日再開)したこと等が影響している。 |                                     |  |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期   |                             | (理由)   |  | (時期)                                |  |
| 成果指標<br>②   | 成果指標の目標数値   | 笠置ファン登録者数 H21：500人→H25：800人 |  | 成果指標の実績値<br>(平成26年3月31日時点)   | 726人                                |  |
|   | 成果指標の達成状況   | ○                           | (左の理由)   | 概ね目標数値を達成。   |                                     |  |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期   |                             | (理由)   |  | (時期)                                |  |
| 本年度の事業実績が<br>成果指標の達成に与えた効果<br><br>※未達成の場合も効果を記載すること | 笠置町「探られる里」プロジェクト事業では、これまであまり知られていなかった町の魅力を発掘することができ、その魅力を分かりやすくまとめた冊子は、今後笠置の魅力を発信するツールとして活用できる。また、事業を通じて移住希望参加者があられ、定住促進につながった。<br>第4回目を迎えた鍋-1グランプリでは約12,000人も観光客が笠置町に会場され、「夏まつり事業」とともに笠置の魅力を発信する場として定着してきました。今後も様々な観光振興の取組を行いながら、笠置町の魅力を発信し、笠置ファン登録者等の増加に繋げていきます。<br><br>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。 |                             |  |  |                                     |  |
| 本プロジェクトに対する自己評価                                     | 関連事業との連携効果  |                             | 歴史・文化イベント、自然・環境イベント及び食文化イベントと幅広い事業展開が図れた。        |  |                                     |  |
|   | 府と市町村等との連携に資する成果  |                             | 地域イベント助成事業の活用が図れた。                               |  |                                     |  |
|   | 住民の自治意識を高める成果   |                             | 各種イベントやプロジェクト事業等を通じて、笠置の魅力を発見、再確認し観光に対する意識が高まった。 |  |                                     |  |

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名： 笠置町

| プロジェクト名                          | 安心・安全なまちづくり事業  | 実施期間                         | 平成23年～平成25年       | テーマ                             | 安心・安全   | 新規・継続の区分 | 継続 |
|----------------------------------|--|------------------------------|-------------------|---------------------------------|---|----------|----|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ               | <p>本町はこれまでに台風や集中豪雨に見舞われ、大きな被害を受けてきています。特に山間地形であるため土砂災害による被害が大きく、京都府による砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業が継続して実施されていますが、まだ危険箇所も多く残っているため、災害に対する十分な備えが求められています。</p> <p>道路等については、豪雨・台風等により路肩等が崩れたりしている箇所もあり、このまま放置しておくとならざる被害の拡大を招きかねません。山間地形に住む本町の住民にとって、特に防災対策等へのニーズは高く、安心・安全なまちづくり事業として重要です。</p> |                              |                   |                                 |   |          |    |
| プロジェクトの目的及び概要                    | <p>防災マップの作成や啓発事業等を実施し、町民並びに笠置に来られる人々の安心・安全を守るとともに、台風や集中豪雨等で破損・崩落した個所を包括的に補修・修繕することにより、被害の拡大を未然に防ぐことにより、安心安全なまちづくりに寄与することを目的とします。</p>   |                              |                   |                                 |   |          |    |
|                                  | 総事業費（千円）   | 18,535                       | 本年度事業費（千円）        | 9,074                           | 交付金額（千円）  | 940      |    |
| プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等） |  |                              |                   |                                 |   |          |    |
| 事業分類                             | 事業名  | 事業種別                         | 事業概要              |                                 | 主な実績（出来高数値等）  |          |    |
| 市町村<br>実施事業                      | 防災行政無線戸別受信機購入  | 交付対象事業                       | 防災行政無線の受信機購入      |                                 | 10個の防災行政無線個別受信機の購入  |          |    |
|                                  | 間伐推進事業   | 〃                            | 町内全域の森林における間伐推進事業 |                                 | 4.15haの民有林の間伐作業を実施  |          |    |
|                                  | 消防用資機材整備事業   | 〃                            | 消防団活動用資機材の整備      |                                 | 消防用ホース3本購入  |          |    |
|                                  | 防災備蓄品購入事業  | 〃                            | 災害時等における備蓄品の購入    |                                 | 防災備蓄用パン1,440食分の購入   |          |    |
| 住民<br>協働<br>事業                   | 防災マップ作成事業  | 〃                            | 地域防災マップの作成        |                                 | 地域防災マップを2,000部作成、全戸に配布  |          |    |
|                                  | 町づくり事業補助金  | 〃                            | 各地区の安全対策等に係る経費を補助 |                                 | 東部区：集会所LED化事業、スポーツ大会 飛鳥路区：崖崩れ修繕<br>北部区：防犯灯改修事業 切山区：U字溝改修        |          |    |
|                                  | 交通安全啓発事業   | 関連事業                         | 街頭啓発等の実施          |                                 | 春・秋全国交通安全運動街頭啓発の実施（交通安全対策協議会委員10名参加）、啓発物品の配布、のぼり旗の掲出、ホームページでの啓発 |          |    |
| 成果<br>指標<br>①                    | 成果指標の目標数値  | 防災備蓄品数量 H24：510人（町民の約30%）3食分 |                   | 成果指標の実績値<br>（平成26年3月31日時点）      | H24：510人（町民の約30%）3食分<br>[パン1,440食・水2,280本分]                     |          |    |
|                                  | 成果指標の達成状況  | ○                            | （左の理由）            | 成果指標である町民の約30%の人数の3食分の防災備蓄品を確保。 |   |          |    |
|                                  | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  |                              | （理由）              |                                 | （時期）  |          |    |

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名： 笠置町

|   |   |   |        |   |          |
|---|---|---|--------|---|----------|
| 成果指標<br>②   | 成果指標の目標数値   | 木津川死亡事故 H22：1人→H25：0人   |        | 成果指標の実績値<br>(平成26年3月31日時点)                  | H25年度：0人 |
|   | 成果指標の達成状況   | ○   | (左の理由) | 平成25年度において、成果目標である笠置町管内における木津川での死亡事故0人を達成。  |          |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期   |   | (理由)   |   | (時期)     |
| 成果指標<br>③   | 成果指標の目標数値   | 町内交通事故死者数 H22：0人→H25：0人   |        | 成果指標の実績値<br>(平成26年3月31日時点)                  | H25年度：0人 |
|   | 成果指標の達成状況   | ○   | (左の理由) | 平成25年度において、成果目標である笠置町管内における交通事故での死亡事故0人を達成。 |          |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期   |   | (理由)   |   | (時期)     |
| 本年度の事業実績が<br>成果指標の達成に与えた効果<br><br>※未達成の場合も効果を記載すること | 防災備蓄品の購入や防災行政無線戸別受信機購入等による災害時の体制整備を図るとともに、住民協働事業で実施した地域防災マップ作成や交通安全啓発事業を通じて、住民の安全意識の向上を図ることが出来た。<br><br>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。 |   |        |   |          |
| 本プロジェクトに対する自己評価                                     | 関連事業との連携効果  | 交通安全啓発事業では、春と秋の街頭啓発活動をはじめ、のぼり旗の掲出やホームページでの啓発等により安心・安全なまちづくり事業に寄与している。 |        |   |          |
|   | 住民の自治意識を高める成果   | 地域防災マップ作成事業やまちづくり事業を通じて住民自治意識の向上が図れた。                                 |        |   |          |

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名： 笠置町

| プロジェクト名                          | 少子高齢化に優しいまちづくり事業  | 実施期間   | 平成23年～平成25年   | テーマ    | 少子・高齢化  | 新規・継続の区分 | 継続 |
|----------------------------------|---|--------|---|--------|---|----------|----|
| 地域における現状、課題及び住民ニーズ               | <p>本町の人口は平成22年度には1,626人（国勢調査）となり、昭和30年の3,205人の約半数に減少しています。また、65歳以上の高齢者の比率も既に40%を超えている。加えて、住民の半数以上が65歳以上の高齢者となる、いわゆる「限界集落」が地区に存在しており、今後地域の社会的共同生活の維持そのものが困難になることが懸念される。将来推計においては、今後も一層の人口減少が見込まれているところであり、町を活性化させ総合的な定住促進化対策等を講じて、町内からの人口流出抑制、町外からの移住を促す必要があります。</p> |        |   |        |   |          |    |
| プロジェクトの目的及び概要                    | <p>美しい自然と、史跡にめぐまれた笠置町の魅力を改めて見直し町内外に発信するとともに、交通ネットワークの維持・住宅整備等子どもから高齢者までがいきいきと暮らせる施策等を総合的に実施し、人口流出の抑制、町外からの定住を促進します。</p>   |        |   |        |   |          |    |
|                                  | 総事業費（千円）  | 65,794 | 本年度事業費（千円）  | 23,262 | 交付金額（千円）  | 7,197    |    |
| プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等） |   |        |   |        |   |          |    |
| 事業分類                             | 事業名   | 事業種別   | 事業概要  |        | 主な実績（出来高数値等）  |          |    |
| 市町村<br>実施事業                      | ボランティアコーディネーター設置事業  | 交付対象事業 | ボランティア研修やコーディネート業務の実施                                     |        | 東部3町村社協合同ボランティア講座の実施（参加者50人）、同わがまちの災害ボランティア講座実施（参加者50人）、福祉・ボランティアふれあいまつりの実施（来場者146人）、ボランティアだより年12回延8,400部発行 |          |    |
|                                  | JR鉄道運賃助成事業  | "      | 70歳以上の方で、JR往復乗車券利用の半額助成。限度額1千円/回、年間12回まで利用可能              |        | 対象541人中131人の利用  |          |    |
|                                  | 老人健康対策事業  | "      | 高齢者の生きがい対策事業として、70歳以上の老人に温泉利用無料券を発行（年間12回の利用券を発行（500円/回）） |        | 対象541人で延べ人数1,437人の利用  |          |    |
|                                  | 福祉タクシー事業  | "      | 身障1・2級、療育手帳A等外出が困難な心身障害者に12千円/年のタクシー利用券を支給（所得制限有）         |        | 9人に対しタクシー利用券を支給   |          |    |
|                                  | 地域福祉推進事業  | "      | ボランティアによる見守り活動等や地域住民交流の場としてのふれあいサロン等の実施                   |        | 75歳以上のひとり暮らし、夫婦世帯の方への月2回の配食サービス（31人利用、延513食）を通じての見守り活動の実施。65歳以上の方を対象に毎月1回地域住民の交流の場（ふれあいサロン）を開催（参加者延673人）    |          |    |
|                                  | 老人（母子）手当支給事業  | "      | 80歳以上の老人及び母子世帯への支給事業                                      |        | 80歳以上の老人222人、18歳までの児童を養育する母子世帯（12世帯）、支給児童数19人に対し支給  |          |    |
|                                  | 障害者健康管理等助成事業  | "      | 身障4級・療育Bまでの人の一部負担金助成                                      |        | 1級・2級年間月平均24人に対し助成、3級・4級他・IQ対象者 32人に対し助成  |          |    |
|                                  | 敬老会事業   | "      | 敬老会事業補助並びに傘寿、米寿及び卒寿以上の方に記念品を支給                            |        | 敬老会事業の実施並びに喜寿：35人、傘寿：20人、米寿：10人、卒寿以上：19人、計84人の方に記念品を支給  |          |    |
|                                  | 緊急通報システム事業  | "      | 1人暮らし、又は高齢者世帯で他の同居者も虚弱な者に対し、設置工事費等助成                      |        | 機器の貸与は町全額負担、機器整備工事及び2年に1度の電池交換に係る費用は、非課税世帯のみ町全額負担（課税世帯は全額負担）で25年度は設置者/10人。                                  |          |    |

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名： 笠置町

|   |  |   |  |   |                  |
|---|--|---|--|---|------------------|
|   | 福祉バス運行事業   | "   | 奈良交通バスの廃止後、町内6集落と町唯一の交通機関であるJR笠置駅を結ぶバス運行                             | 自動車運転免許を持たない高齢者等の利用を中心に平均乗車人員39人/日                                  |                  |
|   | 空き家バンク   | 関連事業  | 町内の空き家を有効に活用して、地域の少子高齢化の軽減及び過疎化の解消を促し、若年層の定住化や町内人口の増加、地域活動の維持・活性化を図る | 25年度空き家登録新規0件、合計1件  |                  |
|   | 駅無人化対策事業   | "   | 無人化となったJR笠置駅に人員を雇用配置し、子どもから高齢者等の鉄道利用者に適切な案内・切符購入を行えるよう実施。            | 乗車人員27,381人/年   |                  |
|   | 子育て支援事業  | "   | 3歳から12歳までの子どもに係る医療費を外来自己負担額の差額を助成しています。                              | 3歳から12歳までの子どもに対し平均47名/月に助成  |                  |
| 成果指標<br>①                                   | 成果指標の目標数値  | 人口動態（社会増減） H21：△29人→H25：0人  |  | 成果指標の実績値<br>(平成26年3月31日時点)  | H25年度：△21人(社会増減) |
|   | 成果指標の達成状況  | △   | (左の理由)   | 平成25年度では、転出46人、転入25人と平成21年度と比較して社会増減数は改善したが目標数値に達していないため。           |                  |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  |   | (理由)   |   | (時期)             |
| 成果指標<br>②                                   | 成果指標の目標数値  | 笠置町空き家への入居 H21：0件→H25：3件  |  | 成果指標の実績値<br>(平成26年3月31日時点)  | 1件 (H23～H25)     |
|   | 成果指標の達成状況  | △   | (左の理由)   | 契約はH23年度の1件で、空き家バンクへの登録数も伸び悩んでいるが、今後は積極的にPRするなどし登録数を増やし、契約に繋げていきたい。 |                  |
|   | 成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期  |   | (理由)   |   | (時期)             |
| 本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果<br>※未達成の場合も効果を記載すること | 町内循環の福祉バス運行や鉄道運賃の助成等の交通ネットワークの維持に向けた取組や各種の児童・高齢者を対象とした支援策を通じて、高齢者等に優しいまちづくりを進めるとともに、笠置駅の無人化対策事業により観光地としてのイメージダウンの回避に繋がった。<br>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。 |   |  |   |                  |
| 本プロジェクトに対する自己評価                             | 関連事業との連携効果   | 駅無人化対策事業では、少子高齢化に対する支援のみならず、防犯面や観光地としてのイメージダウンの回避等にも寄与している。また、笠置町空き家バンクでは、25年度において新たな契約は結べなかったが(23年度1件契約成立)、25年度において問い合わせ件数が増えてきたので、契約に繋げていきたい。 |  |   |                  |
|   | 府と市町村等との連携に資する成果   | 府や町の制度を併せることにより、医療助成体制の強化が図られている。   |  |   |                  |
|   | 住民の自治意識を高める成果  | 福祉医療制度の充実により、住民の自治意識が高まる。   |  |   |                  |